

「中国の大国化とアジア：学際的検討」

開催日時 2019年2月27日(水) 2:00~5:30

開催場所 大隈タワー(26号館) 地下1階 多目的講義室

概要 中国が経済改革・対外開放政策を決定した1978年12月から丁度40年。その過程において中国は急速な経済発展を遂げ、世界第2位の大国になった。中国モデル、北京コンセンサスなどの表現でその発展経験が世界の注目を集めた一方、東シナ海・南シナ海への軍事進出、一帯一路、アジアインフラ投資銀行(AIIB)、中国製造2025などでアジア諸国へのインパクトを強めている。また、進行中の米中経済摩擦もアジアに影響を与えている。

第1部では、それらの問題をどう捉えるかを学際的に論じる。第2部では、アジアをテーマにさまざまな専門の立場から、社会科学の諸問題・諸課題を論じる。

プログラム

開場 (1:30)

趣旨説明：早田 宰 (2:00~2:10)

第1部 中国の大国化とアジア：学際的検討 (2:10~4:00)

報告1 大国化する中国をどう捉えるのかー日本の「中国研究」を考える

劉 傑

報告2 「米中対峙」時代のASEAN

山田 満

報告3 中国といかに向き合うかー多国籍企業の視点

長谷川 信次

報告4 「大国化」した中国の発展モデルが持続するか

トラン ヴァントゥ

質疑応答

休憩 4:00~4:15

第2部 専門の立場からアジアを語る (4:15~5:30)

報告1 アジア発の国際関係論の課題と展望

奥迫元

報告2 冷戦後のグローバリズム再考

菊込俊二

報告3 中国の環境保全制度の発展と課題

黒川哲志

報告4 アジアにおける環境問題の諸相

赤尾健一

報告5 フランスにおける中国系移民

鈴木規子

報告6 グローバル都市ネットワークの視点から

早田宰

質疑応答

閉場 5:30